



平成26年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年10月31日

上場取引所 東

上場会社名 日本食品化工株式会社

コード番号 2892 URL <http://www.nisshoku.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 鈴木 慎一郎

問合せ先責任者 (役職名) 経理部主計課長

(氏名) 柳 将一

TEL 03-3212-9112

四半期報告書提出予定日 平成25年11月13日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第2四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第2四半期	32,821	8.5	1,648	4.0	1,778	6.5	1,222	14.3
25年3月期第2四半期	30,243	△1.3	1,585	192.9	1,670	127.2	1,069	130.3

(注) 包括利益 26年3月期第2四半期 1,001百万円 (17.0%) 25年3月期第2四半期 856百万円 (256.6%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第2四半期	49.70	—
25年3月期第2四半期	43.48	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
26年3月期第2四半期	42,460	17,945	42.3	729.48
25年3月期	42,852	17,263	40.3	701.76

(参考) 自己資本 26年3月期第2四半期 17,945百万円 25年3月期 17,263百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	—	—	13.00	13.00
26年3月期	—	—	—	—	—
26年3月期(予想)	—	—	—	10.00	10.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年3月期の連結業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	61,000	6.5	1,700	△24.6	1,900	△20.2	1,300	20.9	52.84

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

26年3月期2Q	32,000,000 株	25年3月期	32,000,000 株
26年3月期2Q	7,399,823 株	25年3月期	7,399,403 株
26年3月期2Q	24,600,297 株	25年3月期2Q	24,601,604 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)3ページの「1.当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国の経済は、政府による金融緩和をはじめとした景気対策への期待感から企業の景況感が改善されるなど景気回復に向けた兆しが見えつつも、中国経済の先行き懸念、急激な円安による輸入原材料価格の高騰、消費税増税に対する不安感などにより、国内景気の先行きは不透明な状況が続きました。

原料とうもろこしのシカゴ相場は、期初642.25セント/ブッシェルで始まりましたが、12/13年産とうもろこしの在庫が依然としてひっ迫していることや、13/14年産とうもろこしの米国中西部での低温・多雨による作付遅延から5月中旬には700セント/ブッシェル台まで値を上げました。その後、とうもろこしの作付が急速に進み、また中西部の天候も概ね良好であったことから、史上最高の生産高見通しによる需給の緩和観測により、8月中旬には450セント/ブッシェルまで値を下げ、第2四半期末時点では441.5セント/ブッシェルとなりました。

また、原油相場は期初97.07ドル/バレルで始まりましたが、国際エネルギー機関（IEA）による2013年の原油需要見通しの下方修正や中国経済の先行き懸念を受け、86.68ドル/バレルまで値を下げました。しかし、その後、中東での政治的、軍事的な緊張の高まりや対ユーロでのドル安の進行から、上昇傾向となりました。OPEC総会において生産枠が据え置かれると一時的に下落する場面もありましたが、7月に入りスエズ運河やパイプライン等の原油輸送の要衝を抱えるエジプトでの国内武力紛争により上昇し、第2四半期末時点では102.33ドル/バレルとなりました。

一方、米国から日本までの穀物海上運賃は期初52ドル/トン近辺で始まりましたが、中国における鉄鋼製品の供給増・価格下落により鉄鋼原料輸送が鈍化し、50ドル/トンまで下落しました。その後、米国シェールガスの生産本格化による石炭価格下落に対して、米国石炭の輸出競争力が上昇したことにより荷動きは増加傾向となりました。さらに新造船の供給が減少する中で、米国産新穀の輸出開始時期を迎え上昇し、第2四半期末時点では55ドル/トン近辺となりました。

為替相場は期初95.39円/ドルで始まりましたが、日銀の政策決定会合で市場の期待を大幅に上回る量的・質的金融緩和が打ち出されたことから円安が進み、さらに5月のG7財務相・中央銀行総裁会議での円安批判の回避などにより、一時104円/ドル台後半となりました。その後、日米の株安や中国経済の先行き懸念からリスク回避の動きが強まり、95円/ドル台まで円高となりましたが、7月以降は米国等の良好な景気指標及び日米金利差拡大を受け、第2四半期末時点では98.75円/ドルとなりました。

このような状況のもと、当社グループは生産効率の改善、製品在庫水準の適正化及び各種コスト削減に継続的に取り組むとともに、前期に引き続き付加価値製品の拡販に注力しました。

販売面につきましては、例年にない早い梅雨明けとその後の猛暑により7月の清涼飲料向け糖化製品の出荷数量は大幅に伸びました。しかし、猛暑にもかかわらずビール系飲料向け糖化製品の出荷が伸びず、第2四半期末時点では糖化製品全体の販売数量は若干の増加にとどまりました。一方、製紙向けの工業用澱粉は製紙各社の生産調整による減産により、澱粉製品の販売数量は減少しました。

収益面につきましては、昨年の原材料高騰に対し販売価格の改定が徐々に浸透したことにより、収益は改善しました。

この結果、当第2四半期連結累計期間における当社グループの売上高は328億2千万円となり前年同期比25億7千万円（8.5%）の増収、営業利益は16億4千万円と前年同期比6千万円（4.0%）の増益、経常利益は17億7千万円と前年同期比1億円（6.5%）の増益、四半期純利益は12億2千万円と前年同期比1億5千万円（14.3%）の増益となりました。

次に、各部門の販売状況は以下のとおりであります。

(澱粉部門)

澱粉部門は、製紙向け工業用澱粉の販売数量は減少しましたが、価格改定により売上高は70億9千万円と前年同期比3千万円（0.4%）の減収にとどまりほぼ前年並みとなりました。

(糖化品部門)

糖化品部門は、清涼飲料向け糖化製品の販売数量の増加及び価格改定により売上高は211億3千万円と、前年同期比21億4千万円（11.3%）の増収となりました。

(ファインケミカル部門)

ファインケミカル部門は、食品向け糖質及び医薬向け澱粉製品の販売数量が減少したことにより、売上高は9億8千万円と前年同期比2千万円（2.1%）の減収となりました。

(副産物部門)

副産物部門は、販売数量が減少しましたが、価格改定により売上高は36億円と、前年同期比4億8千万円（15.5%）の増収となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間における総資産は、424億6千万円となり、前連結会計年度末と比較して3億9千万円の減少となりました。その主な要因は、受取手形及び売掛金が11億1千万円増加したものの、現金及び預金が4億8千万円、短期貸付金が10億円減少したこと等によるものです。また、負債については、前連結会計年度末と比較して10億7千万円の減少となりました。その主な要因は、未払法人税等が2億2千万円、課徴金引当金が4億4千万円減少したこと等によるものです。

なお、純資産は179億4千万円となり、自己資本比率は前連結会計年度末と比較して2.0ポイント増加し、42.3%となりました。

(キャッシュ・フローの状況)

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物（以下資金という）の残高は、5億7千万円となり、前連結会計年度末と比較して4億8千万円の減少となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果、使用した資金は4億8千万円（前年同期は6億1千万円の資金獲得）となりました。

これは主として、税金等調整前四半期純利益19億1千万円に減価償却費9億1千万円を加算した額から、売上債権の増加額11億1千万円、たな卸資産の増加額6億3千万円、課徴金の支払額4億4千万円及び法人税等の支払額8億9千万円を控除した額等によるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果、獲得した資金は1億6千万円（前年同期は8億7千万円の使用）となりました。

これは主として、貸付金の回収（純額）10億円から、当社工場設備への投資などの有形固定資産の取得による支出9億円を控除した額等によるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果、使用した資金は1億6千万円（前年同期比80.7%減）となりました。

これは主として、借入金の増加（純額）1億5千万円から配当金の支払額3億1千万円を控除した額等によるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成26年3月期の連結業績予想につきましては、当第2四半期連結累計期間における利益が当初予想を上回る結果となったこと及び今後の見通し等を勘案したうえで、通期の連結業績予想の見直しを行い、平成25年4月30日に公表いたしました予想数値より下記のとおり修正いたしました。

平成26年3月期通期連結業績予想数値の修正（平成25年4月1日～平成26年3月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益	
	百万円	百万円	百万円	百万円	円	銭
前回発表予想(A)	62,000	1,600	1,800	1,200	48	78
今回修正予想(B)	61,000	1,700	1,900	1,300	52	84
増減額(B-A)	△1,000	100	100	100	—	—
増減率(%)	△1.6	6.3	5.6	8.3	—	—
(ご参考) 前期実績 (平成25年3月期)	57,297	2,253	2,382	1,075	43	71

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,068	578
受取手形及び売掛金	11,822	12,935
商品及び製品	3,742	3,960
仕掛品	2,153	2,574
原材料及び貯蔵品	4,754	4,750
繰延税金資産	491	592
短期貸付金	2,400	1,400
その他	671	261
貸倒引当金	△0	△0
流動資産合計	27,102	27,052
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	3,207	3,215
機械装置及び運搬具(純額)	5,194	4,946
工具、器具及び備品(純額)	137	133
土地	1,862	1,862
リース資産(純額)	72	60
建設仮勘定	841	795
有形固定資産合計	11,316	11,015
無形固定資産		
投資その他の資産	265	341
投資有価証券	3,156	3,049
長期貸付金	9	7
繰延税金資産	813	807
その他	192	192
貸倒引当金	△3	△4
投資その他の資産合計	4,167	4,051
固定資産合計	15,749	15,408
資産合計	42,852	42,460

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,404	2,275
短期借入金	3,442	1,000
未払金	3,404	3,695
未払法人税等	893	664
賞与引当金	1,084	502
役員賞与引当金	16	5
課徴金引当金	448	—
その他	232	212
流動負債合計	11,926	8,356
固定負債		
長期借入金	9,910	12,510
退職給付引当金	3,168	3,167
役員退職慰労引当金	20	—
長期末払金	132	60
資産除去債務	379	379
その他	52	40
固定負債合計	13,662	16,158
負債合計	25,588	24,515
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,600	1,600
資本剰余金	328	328
利益剰余金	16,974	17,877
自己株式	△2,145	△2,145
株主資本合計	16,757	17,660
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	267	225
繰延ヘッジ損益	161	18
為替換算調整勘定	77	41
その他の包括利益累計額合計	505	284
純資産合計	17,263	17,945
負債純資産合計	42,852	42,460

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
売上高	30,243	32,821
売上原価	24,359	26,795
売上総利益	5,883	6,025
販売費及び一般管理費	4,297	4,377
営業利益	1,585	1,648
営業外収益		
受取利息	0	0
受取配当金	35	46
持分法による投資利益	127	138
試作品売却益	16	20
受取ロイヤリティー	9	13
受取保険金	16	15
その他	18	19
営業外収益合計	224	255
営業外費用		
支払利息	124	95
固定資産除却損	5	27
その他	9	2
営業外費用合計	139	125
経常利益	1,670	1,778
特別利益		
固定資産売却益	1	—
投資有価証券売却益	—	171
特別利益合計	1	171
特別損失		
投資有価証券評価損	10	6
弁護士報酬	14	7
課徴金	—	25
特別損失合計	25	39
税金等調整前四半期純利益	1,646	1,910
法人税、住民税及び事業税	611	666
法人税等調整額	△35	22
法人税等合計	576	688
少数株主損益調整前四半期純利益	1,069	1,222
四半期純利益	1,069	1,222

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	1,069	1,222
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	14	△41
繰延ヘッジ損益	△166	△143
持分法適用会社に対する持分相当額	△61	△35
その他の包括利益合計	△213	△220
四半期包括利益	856	1,001
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	856	1,001
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	1,646	1,910
減価償却費	948	911
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	△13	△20
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	52	△1
投資有価証券評価損益 (△は益)	10	6
投資有価証券売却損益 (△は益)	—	△171
受取利息及び受取配当金	△35	△47
支払利息	124	95
持分法による投資損益 (△は益)	△127	△138
固定資産売却損益 (△は益)	△1	—
固定資産除却損	5	27
弁護士報酬	14	7
課徴金	—	25
売上債権の増減額 (△は増加)	△420	△1,112
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△1,388	△634
仕入債務の増減額 (△は減少)	△298	△129
その他	227	80
小計	744	809
利息及び配当金の受取額	157	143
利息の支払額	△124	△93
課徴金の支払額	—	△448
法人税等の支払額又は還付額 (△は支払)	△165	△893
営業活動によるキャッシュ・フロー	612	△482
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△872	△901
有形固定資産の売却による収入	1	—
無形固定資産の取得による支出	△3	△123
投資有価証券の取得による支出	△2	△2
投資有価証券の売却による収入	—	210
短期貸付金の純増減額 (△は増加)	—	1,000
長期貸付金の回収による収入	1	1
その他	0	△22
投資活動によるキャッシュ・フロー	△875	161
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	—	200
長期借入れによる収入	2,110	3,100
長期借入金の返済による支出	△2,852	△3,142
自己株式の取得による支出	△0	△0
配当金の支払額	△120	△313
リース債務の返済による支出	△10	△12
財務活動によるキャッシュ・フロー	△874	△169
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△1,136	△489
現金及び現金同等物の期首残高	3,271	1,068
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,134	578

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。